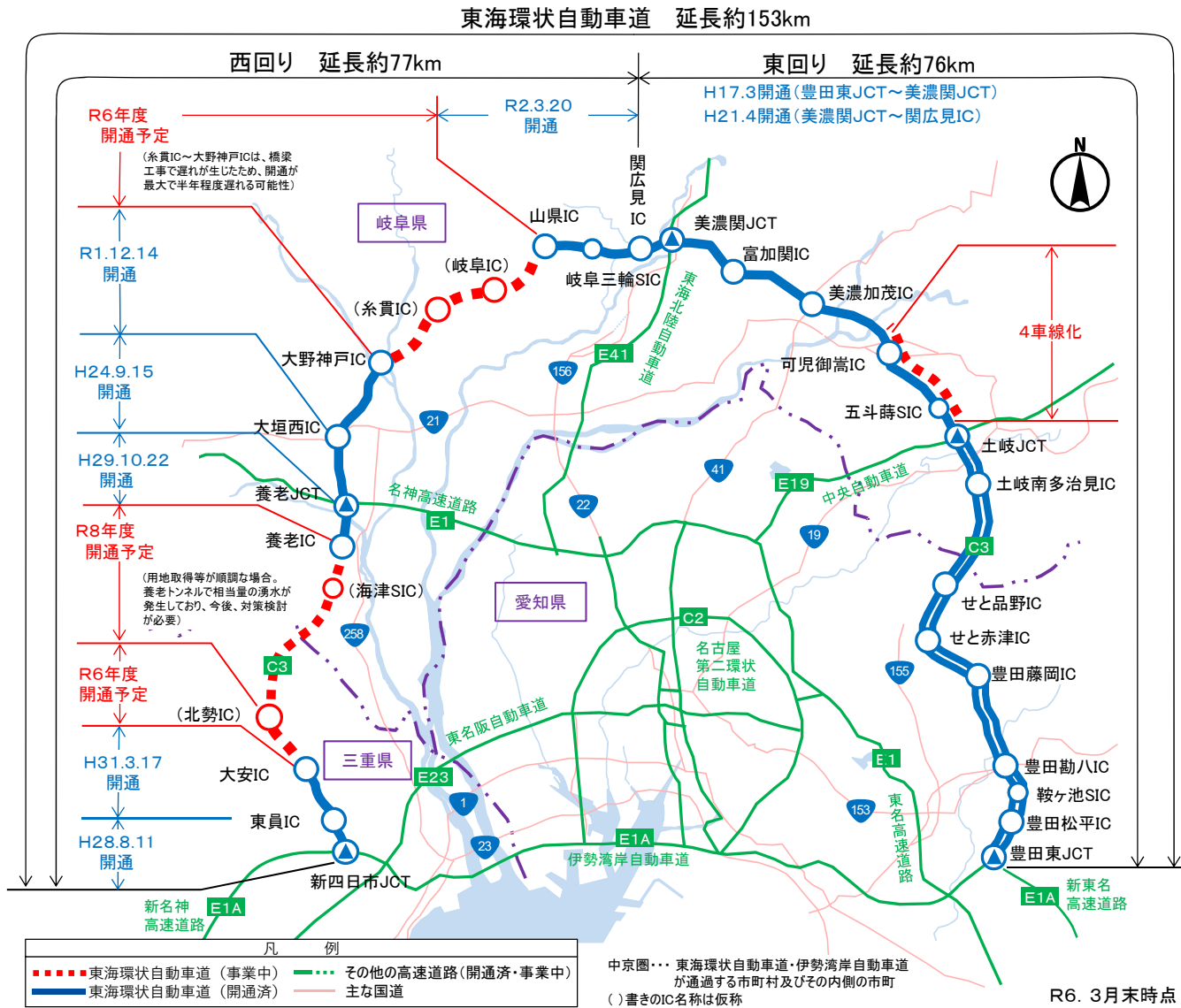


東海環状自動車道の進捗状況

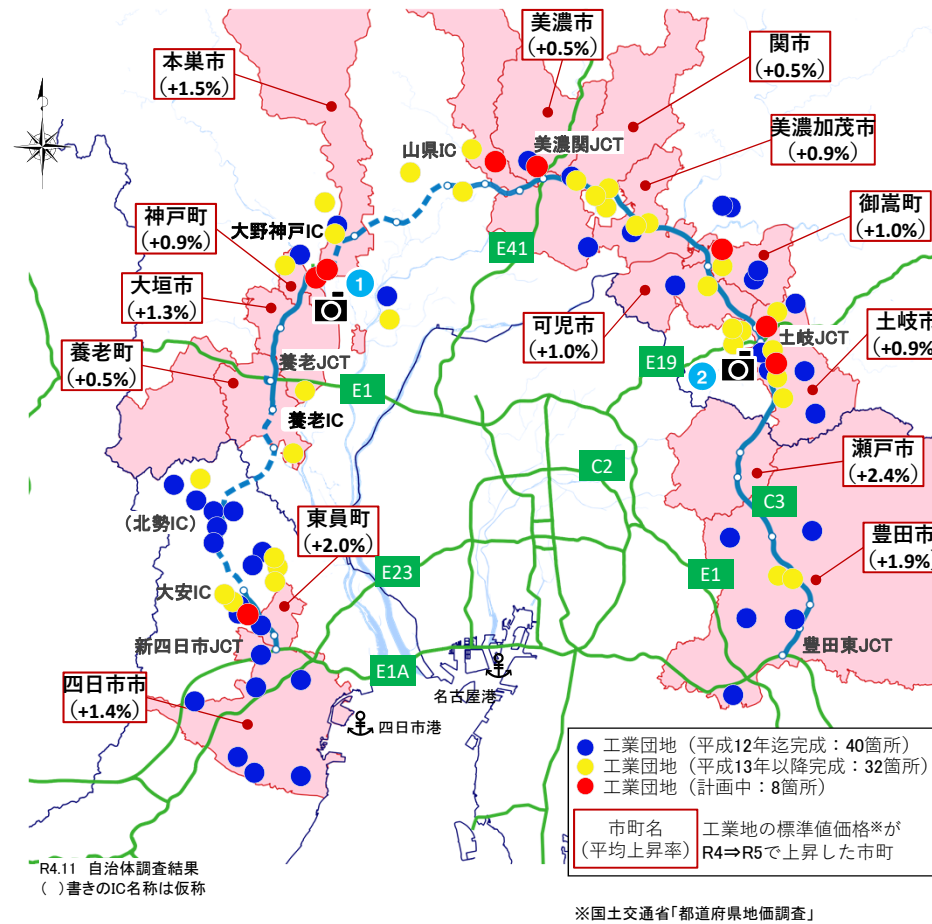
- 国道475号 東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県に跨る延長約153kmの高規格道路です。
- 中京圏の放射状道路を環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等の様々なストック効果を発揮します。
- 道路の整備により、企業立地等の沿線開発が中長期に進む等、**ストック効果は子孫に引き継がれていきます。**



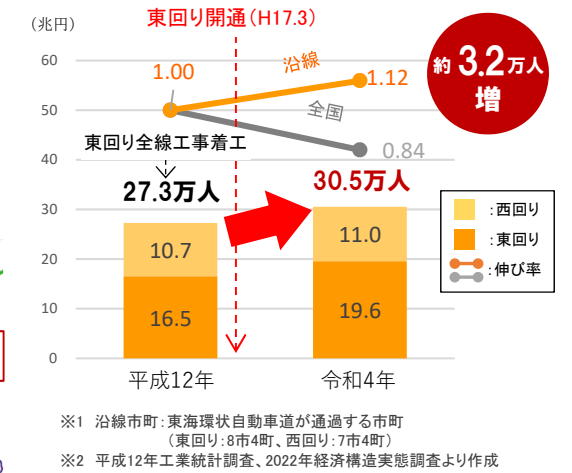
ストック効果（整備効果）工業団地が整備される等、民間需要が誘発

- 【効果】** ○東海環状自動車道沿線市町の**工業地の基準値価格は令和4年に上昇に転じ、令和5年は沿線市町の工業地点の約89%が上昇。**
- 東海環状自動車道(東回り)全線工事着手後、沿線市町の工業団地の立地企業数が**約1.9倍に増加し、171企業が進出、約2.5万人の雇用が創出され、製造品出荷額等が約8.4兆円増加**しました。
- 【期待】** ○東海環状自動車道(西回り)沿線では、36箇所の既存工業団地に加え、開通を見据えた更なる企業の進出が期待されています。

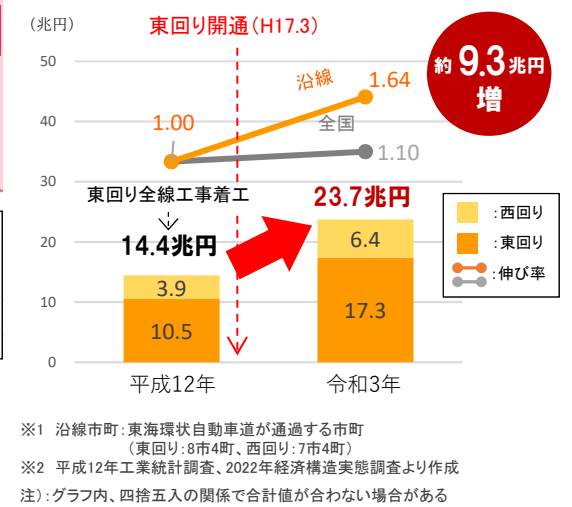
東海環状自動車道の工業団地と基準値価格(工業地)が上昇した市町



沿線市町の製造業従業者数の推移

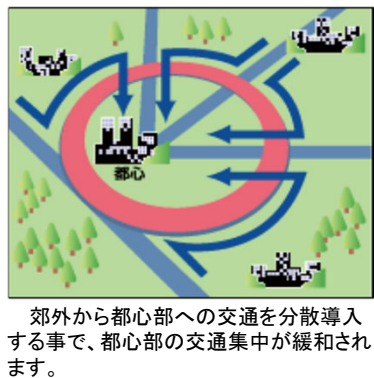


沿線市町の製造品出荷額の推移



環状道路の機能

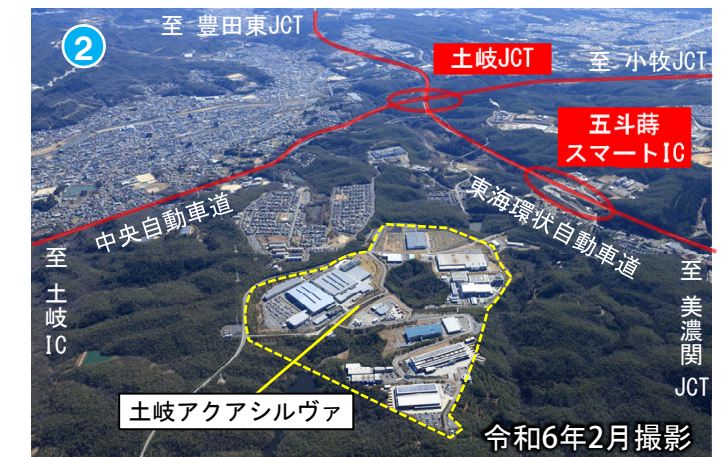
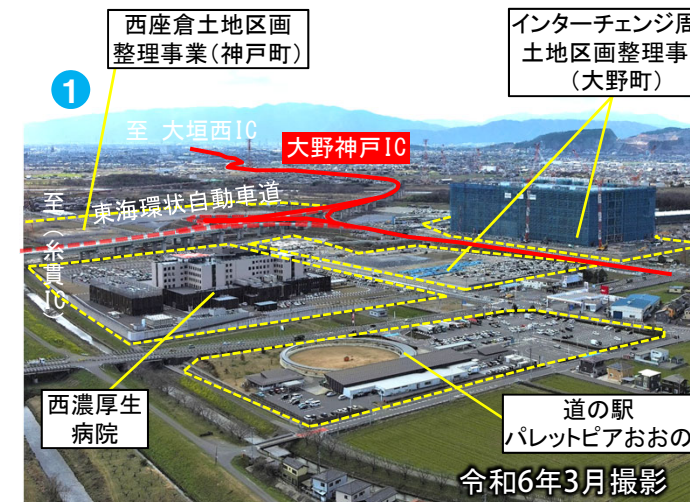
分散導入機能



バイパス機能



非常時の迂回機能



■ 山県IC～大野神戸IC

令和6年度開通予定

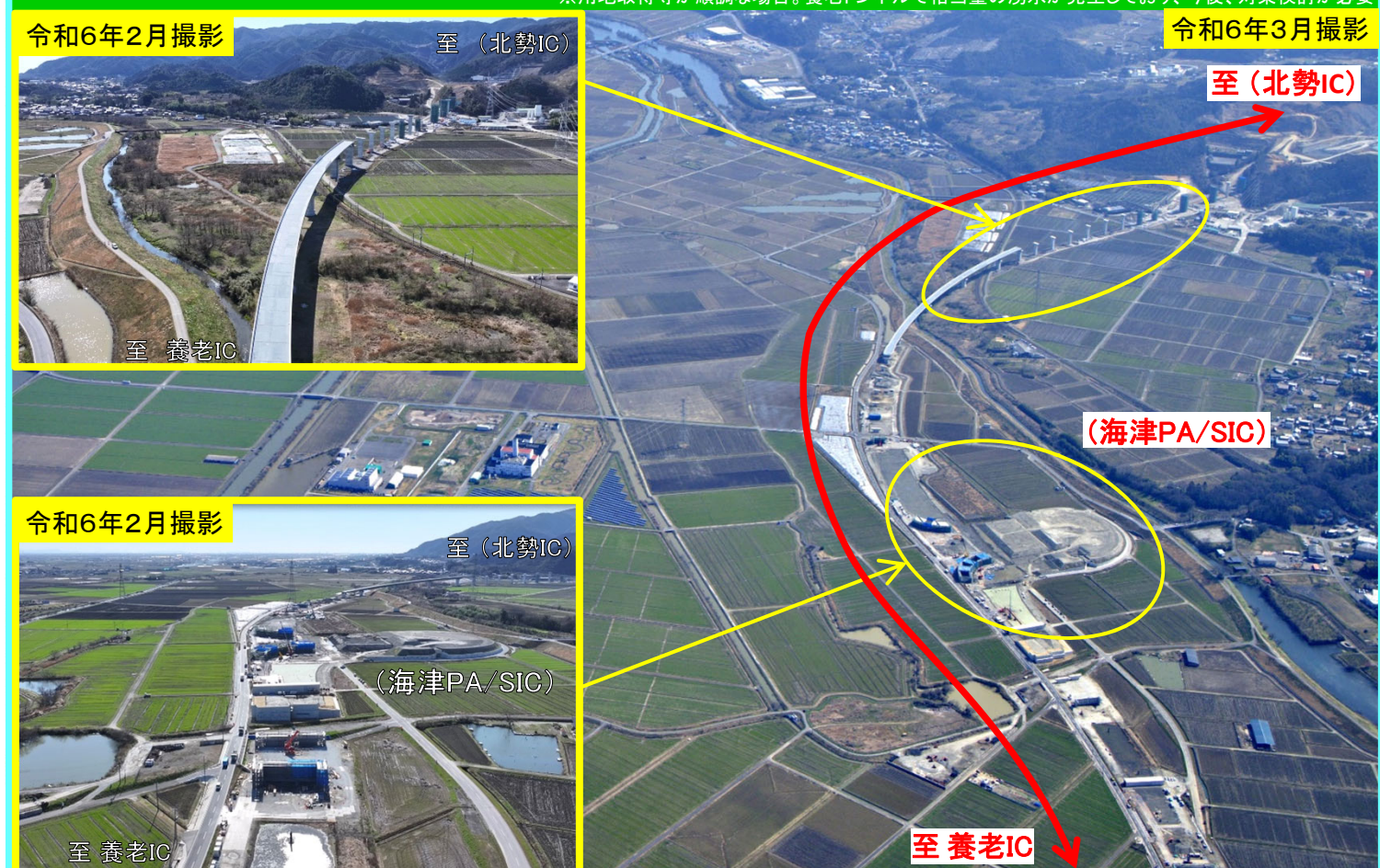
※糸貫IC～大野神戸ICは、橋梁工事で遅れが生じたため、開通が最大で半年程度遅れる可能性



■ 養老IC～(北勢IC)

令和8年度開通予定

※用地取得等が順調な場合。養老トンネルで相当量の湧水が発生しており、今後、対策検討が必要



■ (北勢IC)～大安IC

令和6年度開通予定

